

「サイエンスコース」新設

中高一貫6年制 令和4年度募集 (2022年4月入学生対象)



ここからワクワクが始まる



色が変わってびっくり!



実験って楽しい!

サイエンスコース ●中高一貫の6年間で段階を追って科学リテラシーを身につけ、行動変容を起こす生徒を育成していきます。



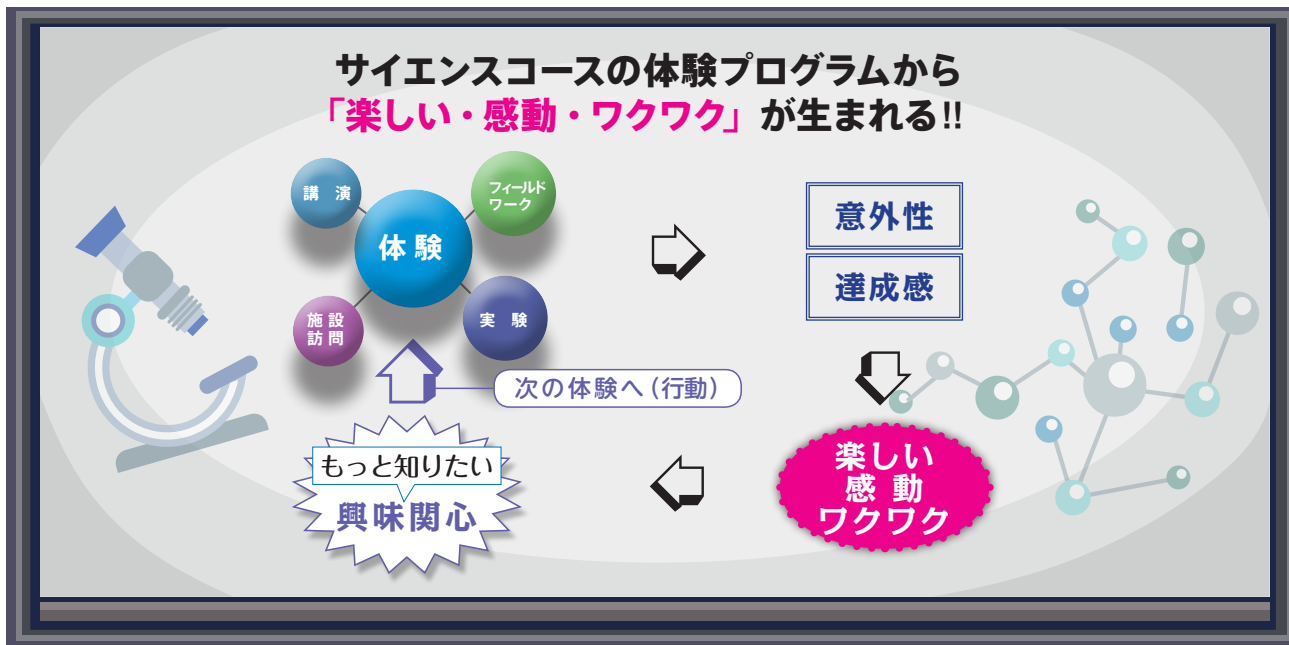
世界の問題を
みんなで考える
って楽しい!



思ったより
色々な種類が
いるんだ

なぜサイエンスなの？

これからの社会をつかっていく一人ひとりが『科学の視点・方法論』で物事を考えられることが必要だと考えたからです。現代社会は高度な科学とそこから生み出される技術に支えられていますが、よくわからないまま使用することで重大な事故や悪影響を与えたりする事例が起きています。また、様々な社会課題の解決策として科学技術を利用していく必要があります。そのため大量の情報の真偽を見定める力も必要になります。このように科学リテラシー^{*}を必要とする場面が増えています。



●サイエンスコースの主な取り組み

- 探究活動の実施
- 豊富な実験・実習・体験プログラム
- 企業や大学との連携
- ICTの活用による学習

●創英のチャレンジ

- 複数担任制
- 道徳にパブリックリレーションズを導入
- アフタースクール
- 実技教科定期テスト廃止
- 3つの力を身につける(自律・対話・創造)

□ オンライン授業で創英の学びは止まらない！

コロナ禍の中、オンライン学習の環境整備を進め Zoom や Google classroom を活用した授業を展開しました。

科学的に考えて行動のできる人を育てるために

横浜創英中学校では、令和4年度よりサイエンスコースを新設することになりました。教育現場のICTが急ピッチで進み AI が導入され脳科学の考えも加わり学校は大きく変わりました。

「1つの正解」よりも「多様性の理解」が大切な時代になり、このようなリベラルアーツのもとに答えのない問いにどのように対処するかが大切になります。

私たちが目指す「サイエンスコース」は、次世代で活躍する子どもたちに必要不可欠な科学リテラシー^{*}を身につけ、仮説を立てて科学的に検証し、色々なことに好奇心をもって接し、解決する力を育てていくことを目標としました。様々な社会課題に対して大学や企業などの民間のリソースを利用し「自律的な学習者」になることを目指します。



校長 工藤 勇一

^{*}科学リテラシーの定義（米国立教育統計センター）

個人としての意思決定、市民的・文化的な問題への参与、経済の生産性向上に必要な、科学的概念・手法に対する知識と理解。



横浜創英中学・高等学校

Yokohama Soei Junior & Senior High School

〒221-0004 神奈川県横浜市神奈川区西大口 28 番地

TEL: 045-421-3121 / Fax: 045-421-3125

<https://www.soei.ed.jp>

横浜創英

